

## 生活支援体制整備事業の「手触り」が感じられる取組み

厚生労働省「これからの地域づくり戦略」に掲載された「ほうふ・てごネっと」は、高齢者の自立支援に資する困りごとを媒介に、SCが介護専門職と地域を繋いでいくもので、生活支援体制整備事業の「手触り」が感じられる取組みです。

### 防府市の



## 生活支援体制整備事業の 「手触り」が感じられる取組み



### 厚生労働省

「これからの地域づくり戦略」掲載  
～ほうふ・てごネっと～

市が介護専門職から高齢者の困りごとを集め、地域や住民が解決する仕組み。

地域と介護事業所が繋がらなければ、地域包括ケアシステムは成り立たない、という発想から生まれた取組みです。



ケアマネ・ヘルパー

依頼



市役所

依頼



地域団体

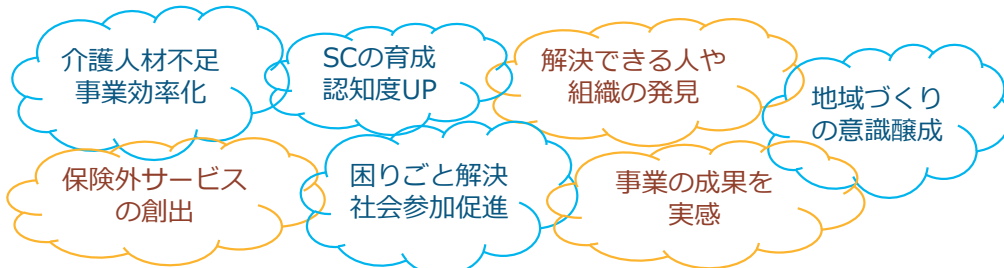


SC

依頼する困りごとは「自立支援に資するもの」で次のものに限定

- ・今はヘルパーがやっている手助け
- ・サービスとして実施できないが困っていること

SCが地域に依頼。  
地域ができないことは  
個人ボランティアへ！



個別課題を媒介に、介護の現場と地域を繋ぎ、社会資源を創出または解決するという生活支援体制整備事業の原点を「いきなりやってしまう」手法です。

**成果が出ないと悩んでいる間も困っている人はいる、ということをお忘れいませんか？**

お問い合わせ

山口県防府市高齢福祉課（担当：中村）

TEL: 0835-25-2527